

小さい者の一人が減びることは天にいますあなたがたの父のみ心ではない。



社会福祉法人 **小羊学園**

〒431-1304

静岡県浜松市北区細江町中川7440-1

電話：053-437-0826 FAX：053-437-0849

E-mail kohitsuji@imix.or.jp

H.P http://www.kohitsuji.or.jp/

発行人：稲松 義人

印刷所：聖隷サービス(有)

定 価：一部 30 円

2008年3月20日

第 301 号

### 心を高くあげよう

理事長 稲松 義人

キリスト教界で、クリスマスと最も大切な祝日に、イースター（復活節）があります。クリスマスはキリストの誕生のお祝いで二月二十五日と決められており、前日をクリスマス・イブといい、日本でも親しまれています。

イースターは、十字架の刑で殺されたイエス・キリストが復活したことを祝う日で、毎年、春分の日から最初の満月の日の次の日曜日をイースターとしてお祝いすることになっています。

春分の日は三月二日ですから、早いときには春分の日直後ということになります。遅ければ四月二〇日過ぎになることもあります。今年三月二三日がイースターで、かなり早い時期ということになりました。イースターの前の金曜日十字架につけられた

「受難日」であり、その前日が、レオナルド・ダ・ビンチの壁画でも有名な最後の晩餐のあった夜ということになります。イースターの前一週間をキリスト教界では受難週と呼びます。

さて、三月の半ばから後半にかけて、ほとんどの社会福祉法人は来年度の事業計画、予算を審議する理事会の時期でもあります。小羊学園は三月二二日に予定されており、まさに受難週に理

事会をすることになりました。小羊学園の移転改築のための工事が厳しい計画であることはすでにお伝えしていることですが、小羊学園の改築の後、障害者自立支援法の下での施設運営についてシュミレーションしてみると、まだ未確定な要素はあるとはいえ、日常運営に関しても相当に厳しい状況であることが見えてきました。

二年前には全く予想しなかったとはいえ、このような不安定な時期に新しい企てをすることのリスクを負うべきではなかったのではないかと心が塞ぎます。これからの福祉社会のために必要なことと思ひ、困難な仕事に果敢に取り組んできたことは、一人よがりだったかと落ち込んでいます。実際に利用者の支援をする職員たちも精一杯がんばってくれているのにそれに報いてあげることができない状況に、施設の管理者としての無力を感じています。

しかし、もちろん逃げ出す訳にはいかないですから、忍耐し知恵を絞って、みんなで力を合わせて、何とかこの一年も乗り切っていかなければならないのだと言ひ聞かせています。どうぞ、皆様にも小羊学園のためにお祈りくださいますように。

小羊学園での毎日を振り返ると、地域に暮らしている障害のある人たちの家庭のギリギリの状況に出会う中で、どこかで区切りをつけてお断わりする決断もできず、喜んで受け入れる力も

なく、途方にくれることの多かっただことを思われます。それは今にはじまったことではないようであり、でも最近になってひしひしと感じる現実の社会のように思ひます。施設に入所している数十人の施設の中で生活のことだけを考えていけば、こんなに苦しい思いはしないのではないかと思ひます。閉鎖された施設の中でもそれぞれに課題はたくさんあるのだから、それに精一杯取り組むこともよいのかも知れません。しかし、地域社会に目を向けると、きつと一つの時代も困難な状況の中でぎりぎりの生活をしている人たちがいたのだらうと思ひます。聖書が書かれた時代も、キリストの周りに集まった人の多くは、病人であり、貧しい人たちであり、社会の中で差別されている人たちでした。そんな人たちとともに生きることが、小羊学園らしい歩みなのかも知れません。

小羊学園を頼ってこられる人たちに十分なことができないうとき、私たちは力のなさに落ち込みます。しかし、そんなときに慰めてくれるのは、私たちと一緒にいてくれる彼らの存在のよう気がします。彼らは自分の存在をいとも低いところにおいています。低いところにいるからこそ、心を上に向けて生きていこうと思ひます。

私たちが心を高く上げるとき、そこに復活の希望が示されるのだと思ひます。

二〇〇八年度職員研究発表会より一題  
(二月二三日開催)

## 利用者の観察方法の見直し

つばさ静岡 伊藤 章乃  
後藤 徳代

### 要旨

利用者の表出を捉えるために新たな観察法を開発した。従来の自由記載での記録を検討した結果、職員の主観的な視点多く、(利用者の)目に注目している記録が多かった。新たに開発した観察法では利用者の身体部位を細かく分け、それぞれの部位に注目した。その結果見逃していた目以外の部位からも反応を捉えることができた。客観的な視点で多くの反応を捉える力をもつけることで、利用者理解が更に深まると考えられた。

### はじめに

私たちは日常生活において利用者さまさまざまな活動を提供している。活動を提供し得られた反応を記録し、職員全体で共有している。しかし活動を提供する上で、利用者の反応を細かく観察してきただろうか、特に表出の少ない利用者の小さな反応を見逃し、限られた部分の表出だけで利用者の快、不

快を判断してきたのではないだろうか、との疑問が残る。利用者の快、不快を判断するためには、職員の観察力の向上は必要不可欠で、まずは利用者の反応を細かな部分まで知ることが必要である。そこで、観察する身体部位を具体的に提示し個々に注目して観察することで、小さな反応を捉えることができるのではないかと考えた。まず従来の自由記載法で職員が観察している視点や特徴を知り、課題を検討した後、観察する身体部位を具体的に提示した表を用いて利用者の表出を観察した。その結果、従来の方法では見逃していた反応を捉えることができた。その観察法を繰り返し行なうことで、職員の観察力の向上が期待できると考えられたのでここに報告する。

### 対象と方法

#### 一、対象者

遠城寺式乳幼児分析的発達検査で三ヶ月未満の表出のわかりにくい利用者五名(四歳〜四二歳 男性三名 女性二名)を対象とした。観察する職員が活動を提供するたびに変わらないよう、利用者の担当職員五名を専任し、活動の提供と記録をしてもらった。

#### 二、方法

提供する活動は、①絵本の読み聞かせ ②ミラーボール ③アロマをかぐ

④バランスボール ⑤あめをなめる ⑥手浴とし、五感に基づく活動を設定した。  
1. 提供した活動に対する利用者の反応を従来の自由記載法で記載し、現在の職員の観察している視点や特徴を知る。  
2. 観察する身体部位を具体的に設定した用紙(以下観察ポイント表)を使用し、同じ活動に対する各部位の変化を記載する。観察ポイントは、職員の

ポイント	発声(有無)	呼吸の状態	覚醒状態	上肢の状態	下肢の状態	目・視線	口の動き	姿勢の変化	その他
絵本									
ミラーボール									
手浴									
バランスボール									
アロマ(匂をかぐ)									
あめをなめる									

(表1 観察ポイント表)

### 結果

主観性に左右されないよう、各部位の具体的な動きに着目するため、発声、覚醒状態、上肢の動き、下肢の動き、目、視線、口、姿勢の変化、の八つのポイントを設定した。活動を提供しながら各部位の変化をその場で観察ポイント表に記録する。  
(記録用紙 表1参照)  
3. 自由記載法と観察ポイント表を使った記載法の両者の違いを検討する。  
4. 職員にアンケートをとり、観察ポイント表を使用する前後の変化を調査した。

1 自由記載法では、職員がどのように関わって活動を提供したか、またその結果どういった反応が返ってきたかわりの流れに沿った反応の様子が書いてあり、活動の様子がわかりやすい印象をうけた。また、気持ち良さそう、嫌そうといった全体的な印象に関する記録が多く、表現の仕方が職員の捉え方で書かれているという特徴があった。また反応が全く無いという記録もみられた。  
(記録例表2参照)  
自由記載法での記録から職員の注目していた部分を部位毎に抽出し表に分類した。  
(表3参照)

縦の列は提供した関わり、横の列は職員が利用者の反応として注目した部

2 次に観察ポイント表(表1)を使用し、記録したところ、反応が全く無い記録はなく、何らかの反応がどの活動からも見られた。(記録例表4参照)また利用者の反応が見たまま客観的に記載され、部位毎の反応が細かく記載されていた。これらの記録を自由記載

位を表している。その他には、気持ち良さそうな顔、嫌そうな表情というような部位の反応ではなく職員を感じた印象の記録を分類した。この表からは、目の様子に関する記録がどの活動でも多く見られている。身体の記録では手浴では手の動きの記録、あめをなめるでは口に関する記録が多く、その活動の直接的部位に限定された記録が多いという結果が得られた。

次の項目を実際に活動を提供しその様子を記入して下さい(カルテに記入するように)どのような姿勢で行ったか最初に記入する。(車椅子にて セラピーにてなど)

利用者名 Mさん

絵本の読み聞かせ

本を読んでいる職員の方をじっと見ていた。集中して聞いているように感じた。

手浴(お風呂と同じような温度で行う。お湯の中にアロマなどはいれない)

左手をつけるがすぐに出そうとする。視線は上方に向き目を開いたまま湯に漬けている間は止まっている。嫌がっているようにも見えた。

バランスボール

乗ってすぐは左手足を少しバタつかせていたが、そのうち力が抜け始める。頭は最後まで動かしていた。

アロマ(匂いをかく)

ある程度距離を離すと不思議そうにおいを楽しんでいる様子。近づけると不快そうな表情を見せる。

あめをなめる

口につけると開口していた口をつぐんで、顔をそむけようと、首を動かしている。何度やっても拒否見られる。

ミラーボール

視界に入った途端にミラーボールを目で追い始め、ミラーボールを持ったまま本人の周囲を回ると正面から右後ろまで顔を動かし、じっと見つめている。

	発生	呼吸	覚醒	上肢	下肢	目	視線	口	頬	姿勢	その他
読み聞かせ	2/10	1/10	0/10	4/10	0/10	2/10	1/10	0/10	0/10	2/10	6/10
ミラーボール	0/9	0/9	0/9	2/9	1/9	4/9	3/9	0/9	0/9	0/9	3/9
手浴	1/10	1/10	0/10	4/10	0/10	2/10	1/10	1/10	0/10	1/10	6/10
バランスボール	1/10	0/10	0/10	4/10	3/10	2/10	1/10	0/10	0/10	4/10	6/10
アロマ	1/10	0/10	0/10	6/10	0/10	2/10	1/10	2/10	0/10	1/10	6/10
あめをなめる	0/9	0/9	0/9	0/9	0/9	0/9	0/9	8/9	0/9	1/9	8/9

(表3 自由記載で職員が目目していた身体部位)

(表2 自由記載例)

と同様に変化を認めた部位を、部位に分けて表にする。(表5参照)

自由記載法では記録が全く見られなかった部位に、新たに記録が見られた部位を網かけで表し、記録は見られていたが更に記録が増えていた部位を\*で表している。鉛をなめるという関わりはほとんど見られなかったが、観察ポイント表を使って記録したところ発声、呼吸、上肢、目などの他部位の記録が

利用者名 Mさん

反応のポイント	発声(有無)	呼吸の状態	覚醒状態	上肢の状態	下肢の状態	目・視線	口の動き	姿勢の変化	その他
絵本の読み聞かせ(仰臥位)	初めは静かだが後半左手が動くと発声が出た	途中から荒徐くなり口、手が動き始める	特変なし	左手(利き手)で頭をかくその後職員の方に手を伸ばして戻す	特変なし	本を捜すように視線を向けて、その後視線を向ける	歯ざりしたり咀嚼するよう口を動かす	特変なし	
ミラーボール(仰臥位)	特変なし	特変なし	目が大きく開き始めた	特変なし	特変なし	視界に入った途端にボールの方を凝視しているボールを動かすと追視する	特変なし	特変なし	かなりの興味を示す
手浴(左側)	湯につけた時しばらくして発声聞かれた	呼吸は落ち着いて	特変なし	30秒程は静かに湯につけていたが、手を動かして湯から出してしまう	特変なし	目を開いて、そのまま、考えているように見える	動いていたが止まった	特変なし	
バランスボール(腹臥位)	う〜っと小さい声	特変なし	乗った直後、目が開き上肢が次第にトロンとしてくる	首を上げようとしたが、首の力が抜ける	左足よく動くバランスをとっているようにも見える	両目上方に向いていくように表情になる	パクパク動かしていた	左側に転がろうとしていた	上半身リスリしているが下半身は入っていた
アロマ(匂いをかく)(仰臥位)	特変なし	特変なし	特変なし	左手動いている	特変なし	両目上方に向かい、その後ちょっとした表情する	口をパクパクさせていた	特変なし	顔をそむけてアロマから逃げようとする嫌そう
あめをなめる(仰臥位)	時々う〜と	特変なし	目が開く	しつこくあめをすすめると左手でスタッフ叩く	特変なし	大きく開く	あめを口につけた途端口を拒否何度やっても同様	特変なし	

(表4 観察ポイント表記入例)

見られるようになってくる。また目に開く記録が明らかに増えており、記載もより具体的になっている。注目されにくい呼吸の状態や姿勢の変化も観察ができていた。しかしどのような関わりで反応が起きたのか、どのようなタイミングで見られたのか、活動の流れにおける記録がなく、わかりづらいという一面も見られた。

3 両記載法を終えた、対象職員に対するアンケート結果

観察ポイント表を使用して新たな発見はありましたか

はい 四名 いいえ なし どちらでもない 一名

研究を行った後、日常生活において利用者を観察する視点は増えましたか

はい 四名 いいえ 一名 どちらでもない なし

意見の中には「いままで気づかなかった反応を見つけることができた」「発

	発生	呼吸	覚醒	上肢	下肢	目	視線	口	頬	姿勢	その他
読み聞かせ	4/11	3/11	8/11	5/11	2/11	8/11	0/11	8/11	0/11	3/11	3/11
ミラーボール	1/9	2/9	6/9	2/9	1/9	8/9	0/9	1/9	0/9	2/9	5/9
手浴	*4/10	*3/10	7/10	3/10	2/10	*7/10	1/10	*6/10	0/10	*4/10	2/10
バランスボール	*9/10	*6/10	7/10	6/10	*6/10	*9/10	1/10	8/10	0/10	*6/10	5/10
アロマ	2/11	2/11	7/11	2/11	1/11	*7/11	1/11	3/11	1/11	4/11	5/11
あめをなめる	3/7	2/7	4/7	2/7	0/7	4/7	0/7	7/7	0/7	1/7	2/7

(表5 観察ポイント表で変化が観察された)


見はなかったが利用者の反応にどのような意味があるのか興味をもてた」などの意見が見られた。職員の観察力が向上したと断言はできないものの継続して観察ポイント表を使うことにより、観察するポイントが身に付き、視点が広がっていく可能性があると考えられる。

考察

利用者の反応は自由記載でも観察ポイント表でも目の部分に多く認められた。目は利用者の反応が得られやすく職員が自然に注目している部位ということがわかる。更に目の動きを細かく観察することで、表情などで判断のつきにくい利用者に対しても表出を捉えることができる可能性があると考えられた。自由記載では見られなかった関わりでの直接的部位以外の呼吸、口、姿勢にも観察ポイント表では動きをとらえることができ、今後観察すべき部位であると考えられた。観察ポイント表でその場で確認しながら、観察することができ、細かな利用者の反応を知ることができる。また職員の主観に捉われず、客観的に観察することができるため有用である。観察された身体部位の反応が確実にその関わりから得られたものか確認ではないが、繰り返し同じ関わりをする中で同じ反応が見られるのであれば、利用者の表出と理解できるようにになると考えられる。利用者が関

### 小羊学園移転計画

基礎工事が着々と進んでいます。



どうぞ、これからも目標達成のためにお祈りください。皆さまの周囲で新たにご協力いただけそうな方をご紹介いただければ幸いです。今回も心からの感謝をもって中間報告をさせていただきます。

5千万円	1億円	1.5億円	目標額 2億円
2月28日現在、81,144,746円			目標額 2億円

**小羊学園・移転改築計画にご協力ください**  
 (口座名義)「小羊学園を支える会」  
 郵便振替口座 00890-4-45415  
 リソナ銀行浜松支店 (普通) 040005  
 静岡銀行細江支店 (普通) 043483  
 必要があれば、募金のお願(振込用紙)を、お送りいたします。下記へご連絡ください。  
 問い合わせ先：小羊学園  
 〒431-1304 浜松市北区細江町中川 7440-1  
 電話 053-437-0826

わりをどう感じているか職員側が予測することは必要だと思われるが、ある一部の反応のみで利用者の快、不快を予測するのではなく、より多くの表出を見つけ、そこから利用者がどう感じているのか予測していく必要がある。今後、表出のわかりにくい利用者の関わりに対する反応を知りたいときや、観察力が身につかない新人を対象に観察ポイント表を使用するとより効果が得られると考えている。多くのポイントに注目して観察する力を身につけることで、利用者理解につながる。と考えている。



編集後記

三月の半ばに原稿を書いたのに、編集のための時間がとれず、四月の発送になってしまいました。やることは多いのに、時間には限りがあり、効率よく対応する能力もありません。多くの方にご支援いただきながら、十分に礼を尽くすこともできず心苦しく思います。事務所の窓から、咲きはじめた桜の花が見えます。人間たちがどのような生活を送るかが、季節はめぐり、自然はそこそこの春の息吹が皆さまの生活にも感じられます。春の日の新しい命の息吹が皆さまの生活にも感じられます。春の日の新しい命の息吹が皆さまの生活にも感じられます。(I)